

平成 21 年度事業計画

法人

- 1．利用者の人権を尊重し、安心、安全と信頼ある質の高い介護サービスを提供する。
- 2．介護報酬改定に合わせた事業内容と職員配置の見直し
- 3．個々の職員が誇りを持ちやる気と能力が発揮できる働きやすい職場づくりと組織運営
- 4．リスクマネジメント推進による事故・苦情への適正な対応
- 5．財務基盤の安定化
- 6．人材の定着率向上・スキルアップ促進（資格取得支援・研修・時間外勤務削減）

生活相談

- ・地域、行政における園の役割を念頭に置き、利用者やご家族に信頼されるよう誠実な相談援助及び支援を行なう
- ・ソーシャルワーカーとして他部署との連絡調整と連携を密に図る。

従来型特養

- ・報告、連絡、相談の徹底による業務の状況確認と連携、整理整頓による清潔な環境作り、レクリエーション活動の充実を図る。（2階）
- ・長期入園者とショートステイ利用者及びご家族の満足度と稼働率の向上を図り、安全安心な生活を支援していくための工夫と連携を図る。（3階）
- ・基本の重視、生活の場としての環境作り、情報共有、他職種連携等に加え、介護福祉士の取得と超過勤務の削減を行い、介護の質の向上を目指す。（4階）

ユニット特養

- ・ケアプランに沿った援助、居室等の清掃及び整理整頓等環境整備により信頼関係を深めるとともにお年寄りの生きがいと職員のやりがいを見つけていく。（水ユニット）
- ・基本を大切に利用者やご家族との信頼関係を重視し、ケアプランに沿ったその人らしい生活の支援を行い、心と身体健康維持に努める。（風ユニット）
- ・整理整頓と清掃、他部署との連携、レクリエーションの充実等により、利用者に寄り添い生活の幅を広げ快適な生活空間の提供を目指す。（光ユニット）

看護・リハビリ

- ・日常生活での健康障害の早期発見と嘱託医及びご家族との連携による適切な対応により、利用者が日常生活の中に楽しみを見出せるような支援と健康管理を、部署間の情報共有と連携を図りながら行なう。（看護）
- ・機能訓練計画の評価及び見直しの継続、身体機能維持向上のためのポジショニングの導入（リハビリ）

栄養管理

- ・介護職（ムース食）の導入検討、食事種類の見直しを行なう。
- ・介護及び看護等他職種との連携を図り、利用者の栄養ケア計画を作成する。
- ・竜爪園、ソレーナ、西瀬名デイの食事作りを円滑に行なうための工夫や協力体制を進める。
- ・安全な食事作りのための衛生管理点検及び勉強会の実施、食品の選択と食材料費の検討を行なう。
- ・季節感のある行事食や茶話会の実施、メッセージカードの作成等により楽しみのある食事作りを目指す。

歯科衛生

- ・「楽しくコミュニケーションを図る口、美味しい食事を安全に食べられる口、感染源から身体を守ることができる口」を他職種連携で達成することも目標に、入園者・利用者及び職員の相談対応により笑顔溢れる施設を目指す。

デイサービスセンター竜爪園

- ・基本を大切に介護サービスを行い、地域に根ざし安心を与え信頼されるデイサービスを目指す。（通常型）
- ・利用者を敬い、通所介護計画に基づいたサービスを提供し、地域に信頼されるデイサービスを行なう。（認知症型）

デイサービスセンターソレーナ

- ・地域から信頼されるデイサービスとなるよう、職員各自が利用者の立場に立ったサービス提供とニーズの把握を心掛け、チームとして今ある資源を最大限に活用し効率的に行動する。

西瀬名デイサービスセンター

- ・利用者に「生きがい、安心、安全」を提供できるあたたかなデイサービス作りをし、在宅生活を支援する一員となる。

居宅介護支援センター竜爪園

- ・医療機関や施設との連携を強化し、情報提供や居宅介護計画、記録の充実を図りながら在宅介護にむけた質の高いサービスの提供を行なう。

長尾川地域包括支援センター

- ・研修への参加や内部研修の実施、S型デイや町内会等への参加により認知症への啓発や情報提供を積極的に行なう。

総務

- ・気持ちの良い窓口対応、親切丁寧な電話対応、公平な労務管理のための規程及び届出書類等の整備を行い、法令の理解と遵守に務め、基本を重視した正確かつ適正な事務管理に務める。